

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定3・4級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 電卓の基礎知識 2 キー操作練習 3 加減算練習 4 見取算練習 5 乗除算練習 6 伝票算練習 7 電卓総合演習 1 8 電卓総合演習 2 9 電卓総合演習 3 10 電卓総合演習 4 11 電卓総合演習 5 12 電卓総合演習 6 13 電卓総合演習 7 14 電卓総合演習 8 15 電卓総合演習 9
成績評価方法 (試験実施方法)	電卓演習における得点を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能検定1・2級に合格する	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓実践演習1
	3	電卓実践演習2
	4	電卓実践演習3
	5	電卓実践演習4
	6	電卓実践演習5
	7	電卓実践演習6
	8	電卓実践演習7
	9	電卓実践演習8
	10	電卓実践演習9
	11	電卓実践演習10
	12	電卓実践演習11
	13	電卓実践演習12
	14	電卓実践演習13
	15	電卓実践演習14
成績評価方法 (試験実施方法)	電卓演習における得点を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書作成	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1	文字入力の基礎 1
	2	文字入力の基礎 2
	3	ビジネス文書作成 1 (案内文)
	4	ビジネス文書作成 2 (案内文)
	5	ビジネス文書作成 3 (送付状)
	6	ビジネス文書作成 4 (送付状)
	7	ビジネス文書作成 5 (社内文書)
	8	ビジネス文書作成 6 (社内文書)
	9	ビジネス文書作成 7 (表作成)
	10	ビジネス文書作成 8 (表作成)
	11	ビジネス文書作成 9 (表作成)
	12	ビジネス文書作成 10 (文章と表の組み合わせ)
	13	ビジネス文書作成 11 (文章と表の組み合わせ)
	14	ビジネス文書作成 12 (メール文章・メールの設定)
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定の得点ならびに課題で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科 1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	面接時の入退室及び自己PRができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方・身嗜みチェック
	3	初級面接効果測定
	4	自己分析①
	5	自己分析②
	6	自己分析③
	7	面接質問項目①
	8	面接質問項目②
	9	面接質問項目③
	10	志望動機①
	11	志望動機②
	12	志望動機③
	13	面接カードの作成
	14	中級面接効果測定
	15	模擬面接試験の検証
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う	
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	エントリーシート・面接カード作成①
	2	エントリーシート・面接カード作成②
	3	エントリーシート・面接カード作成③
	4	エントリーシート・面接カード作成④
	5	エントリーシート・面接カード作成⑤
	6	職種研究①
	7	職種研究②
	8	職種研究③
	9	職種研究④
	10	面接効果測定準備
	11	上級面接効果測定
	12	模擬面接準備
	13	模擬面接①
	14	模擬面接②
	15	模擬面接③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義・実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ビジネスマナーの基礎知識
	2	身だしなみと立ち居振る舞い
	3	敬語とビジネス用語
	4	応接・接遇のマナー
	5	電話応対基礎編(講義)
	6	電話応対基礎編(練習)
	7	電話応対基礎編(実践練習)
	8	電話応対応用編(講義)
	9	電話応対応用編(練習)
	10	電話応対応用編(実践練習)
	11	模擬効果測定準備
	12	模擬効果測定
	13	模擬効果測定結果検証
	14	伝言を含む電話応対(講義1)
	15	伝言を含む電話応対(練習1)
	16	伝言を含む電話応対(講義2)
	17	伝言を含む電話応対(練習2)
	18	伝言を含む電話応対(実践練習1)
	19	伝言を含む電話応対(実践練習2)
	20	第1回効果測定準備1
	21	第1回効果測定準備2
	22	第1回効果測定
	23	第2回効果測定準備
	24	第2回効果測定
	25	第3回効果測定準備
	26	第3回効果測定
	27	電話での道案内
	28	クレーム対応
	29	冠婚葬祭のマナー

	30	様々な場面でのマナー
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科 1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級に合格する	
教科書	問題集・プリント・模擬試験	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名
	2	熟語
	3	異字同訓・同音異義
	4	誤字訂正
	5	類義語
	6	対義語
	7	漢字の意味・使い方
	8	項目別模擬試験①
	9	項目別模擬試験②
	10	項目別模擬試験③
	11	直前模擬試験①
	12	直前模擬試験②
	13	直前模擬試験③
	14	直前模擬試験④
	15	直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定1級に合格する
教科書	問題集・プリント・模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名・熟語 2 同音異義・異字同訓 3 誤字訂正・類義語・反対語 4 漢字の意味・使い方 5 ことわざ・故事成語・慣用句① 6 ことわざ・故事成語・慣用句② 7 特殊な漢字の読み書き 8 項目別模擬試験① 9 項目別模擬試験② 10 効果測定 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科 1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 A	
授業方法	実習	
授業時間	30 時間	
授業コマ数	15 コマ	
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCELの操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	パソコンの基本操作①
	2	パソコンの基本操作②
	3	パソコンの基本操作③
	4	パソコンの基本操作④
	5	マイクロソフトオフィスの機能
	6	WORDの基本操作①
	7	WORDの基本操作②
	8	WORDの基本操作③
	9	WORDの基本操作④
	10	WORD効果測定
	11	EXCELの基本操作①
	12	EXCELの基本操作②
	13	EXCELの基本操作③
	14	EXCELの基本操作④
	15	EXCEL効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践数的 I 数的推理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制昼間部
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 方程式・不等式 (方程式) 2 方程式・不等式 (不定式、過不足算) 3 整数・計算パズル (約数と倍数、割り算の余り、整数の性質) 4 整数・計算パズル (数列、n 進法、その他、整数に関する問題) 5 割合と比 (割合、比) 6 割合と比 (売買算) 7 割合と比 (濃度) 8 割合と比 (濃度)、速さ (速さ) 9 速さ (旅人算) 10 速さ (通過算、流水算) 11 速さ (時計算)、仕事算 (仕事算、給排水算) 12 仕事算 (仕事算、給排水算、ニュートン算) 13 その他文章題 (年齢算、平均算) 14 場合の数 (場合の数、順列、重複組合せ、円順列) 15 確率 (事象と確率、赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	上記のほか、基礎数学と方程式の予備講義 1 コマを実施

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅱ 判断推理
実務家教員	
学部・学科	公務員学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 論理 (対偶と三段論法、ド・モルガンの法則、論理と集合) 2 集合の要素 (ベン図、キャロル表、交わりの最小値) 3 順序 (順序の確定、順序の変動) 4 順序 (順序の数値条件、時計のずれ) 5 位置・方位 (位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて) 6 位置・方位 (円卓・議長席・道をへだてて、方位・作図) 7 対応 (対応関係、スケジュール表、対応の数値条件、やりとり) 8 勝敗 (リーグ戦、トーナメント戦)・うそつき 9 暗号、推理・手順 (他人の判断から判断する) 10 推理・手順 (カードゲーム、石取りゲーム、てんびん、手順)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践数的Ⅲ 空間把握・資料解釈	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	24時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）、道順・一筆書き・位相
	2	平面構成（折り紙）、平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成）
	3	正多面体（正多面体、展開図）、立体構成（サイコロ）
	4	立体構成（積木の問題、投影図、立体の切断）
	5	立体構成（回転体）、平面図形の計量（角度）
	6	平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理）
	7	平面図形の計量（相似比、面積比）
	8	平面図形の計量（面積比、円）
	9	平面図形の計量（扇形と移動図形）、立体図形の計量
	10	立体図形の計量
	11	資料解釈（実数、割合・指数・前年比）
	12	資料解釈（増加率、いろいろな資料）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践社会科学 I 政治	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1 年制昼間部	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業コマ数	10 コマ	
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	政治の基本理念、国家論
	2	政治制度論
	3	基本的人権総論、包括的基本権
	4	自由権
	5	社会権
	6	国会の機構と運営
	7	内閣の機構と運営
	8	裁判所の機構と運営
	9	地方自治
	10	選挙制度
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践社会科学Ⅱ 経済	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	24時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と本試験レベルの実践的知識までを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	経済社会の変容、現代の企業
	2	現代の市場
	3	国民所得
	4	経済成長と景気循環
	5	通貨制度と金融政策
	6	財政制度と財政政策
	7	貿易と外国為替
	8	日本経済の動向
	9	国際経済の動向
	10	社会理論、労働問題
	11	社会保障、環境問題
	12	国際関係、現代の諸相
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学 I 地理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1 年制昼間部	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業コマ数	10 コマ	
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形
	2	世界の気候
	3	世界の農業
	4	世界の資源
	5	世界の工業
	6	地区の特色と利用
	7	生活と地域
	8	日本地誌
	9	世界地誌 (アジア、アフリカ)
	10	世界地誌 (ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅱ 歴史
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 鎌倉時代 4 室町時代 5 封建社会の確立 6 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革） 7 江戸時代（幕末）、明治維新 8 立憲体制の確立 9 近代文化の発展 10 大正、昭和 11 中国史1（殷～漢） 12 中国史2（魏晉南北朝～隋、唐） 13 中国史3（宋、元） 14 中国史4（明、清） 15 中国史5（清の崩壊、中華民国）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践言語 I 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1 年制昼間部	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8	要旨把握、四字熟語 要旨把握、四字熟語 内容合致、ことわざ 内容合致、ことわざ 文章整除、文法基礎 文章整除、文法基礎 文章の穴埋め、敬語 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践演習 I 数的処理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1 年制昼間部	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	2 4 時間	
授業コマ数	1 2 コマ	
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	数的推理総合演習
	2	数的推理総合演習
	3	数的推理総合演習
	4	科目試験 1
	5	判断推理総合演習
	6	判断推理総合演習
	7	判断推理総合演習
	8	科目試験 2
	9	図形・資料解釈総合演習
	10	図形・資料解釈総合演習
	11	図形・資料解釈総合演習
	12	科目試験 3
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅱ 社会科学
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権 3 国会の機構と運営 4 内閣の機構と運営 5 裁判所の機構と運営 6 地方自治、選挙制度 7 科目試験1 8 現代の企業、現代の市場 9 国民所得 10 通貨制度と金融政策 11 財政制度と財政政策 12 貿易と外国為替 13 社会総合 14 科目試験2
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制昼間部
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	4 8 時間
授業コマ数	2 4 コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実戦的なレベルの模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 警察官タイプの模擬試験 1 2 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 1 3 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 2 4 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 3 5 海上保安学校タイプの模擬試験 6 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 4 7 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 5 8 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 6 9 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 7 10 国家公務員タイプの模擬試験 1 11 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 8 12 国家公務員タイプの模擬試験 2 13 国家公務員タイプの模擬試験 3 14 国家公務員タイプの模擬試験 4 15 国家公務員タイプの模擬試験 5 16 消防官タイプの模擬試験 17 地方公務員タイプの模擬試験 1 18 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 9 19 警察官タイプの模擬試験 2 20 選択式（地方公務員 2 タイプ・裁判所）模擬試験 21 刑務官タイプの模擬試験 22 警察官タイプの模擬試験 3 23 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 1 0 24 地方公務員タイプの模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	第1回から第15回までは模擬試験の取り組み姿勢、第16回から第24回までは模擬試験成績にて評価
備考	基礎的なレベルの模擬試験として、一部過去問を含む場合がある

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事対策	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンルの社会時事を学ぶ	
授業の進め方	1項目15分程度で、重要な時事ワードを軸に内容を解説し、問題演習を行う	
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事 (政治分野 1)
	2	時事 (政治分野 2)
	3	時事 (政治分野 3)
	4	時事 (経済分野 1)
	5	時事 (経済分野 2)
	6	時事 (文化 1)
	7	時事 (文化 2)
	8	時事 (文化 3)
	9	時事 (科学 1)
	10	時事 (科学 2)
	11	時事 (科学 3)
	12	時事 (科学 4)
	13	時事 (科学 5)
	14	時事 (国際問題 1)
	15	時事 (国際問題 2)
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科 1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	適性試験の解き方を学び、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験練習 1
	2	適性試験練習 2
	3	適性試験練習 3
	4	適性試験練習 4
	5	適性試験練習 5
	6	適性試験練習 6
	7	適性試験練習 7
	8	適性試験練習 8
	9	適性試験練習 9
	10	適性試験練習 10
	11	適性試験練習 11
	12	適性試験練習 12
	13	適性試験練習 13
	14	適性試験練習 14
	15	適性試験練習 15
	16	適性試験練習 16
	17	適性試験練習 17
	18	適性試験練習 18
	19	適性試験練習 19
	20	適性試験練習 20
成績評価方法 (試験実施方法)	練習課題における得点で評価	
備考	適性試験練習には一部模擬試験タイプを含む	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	公務員学科 1 年制昼間部
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 1 3 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 2 4 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 3 5 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 4 6 作文練習 1 7 作文練習 2 8 作文練習 3 9 作文練習 4 10 作文練習 5 11 作文練習 6 12 作文練習 7 13 作文練習 8 14 作文練習 9 15 作文練習 1 0
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択B
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害対策の枠組み (講義) 2 災害対策の実例 (講義) 3 課題研究 1 4 課題研究 2 5 課題研究 3 6 課題研究 4 7 課題研究 5 8 課題研究 6 9 研究発表シナリオ作成 1 10 研究発表シナリオ作成 2 11 研究発表準備 1 12 研究発表準備 2 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	行政法
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	38時間
授業コマ数	19コマ
授業概要	行政作用法、行政救済法および行政組織法について行政法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 行政法の一般的な法理論 2 行政法上の法律関係、行政行為の意義・分類 3 行政行為の効力・瑕疵 4 行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅 5 行政行為の附款、行政強制 6 行政罰、行政調査 7 行政契約、行政計画、行政指導 8 行政立法、行政手続法 9 行政手続法、手続の瑕疵 10 行政機関情報公開法 11 行政救済法一般、行政不服審査法 12 行政不服審査法 13 行政事件訴訟法(取消訴訟) 14 行政事件訴訟法(取消訴訟) 15 行政事件訴訟法(その他抗告訴訟) 16 国家賠償法 17 国家賠償法、損失補償、国家補償の谷間の問題 18 行政組織法、地方自治法 19 地方自治法、総合演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	憲法
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 憲法総論 2 基本的人権総論 3 包括的基本権 4 法の下での平等 5 思想良心の自由、信教の自由 6 信教の自由、表現の自由 7 表現の自由 8 表現の自由、学問の自由 9 職業選択の自由 10 財産権 11 人身の自由、社会権 12 社会権、参政権、受益権 13 国会 14 内閣、裁判所 15 裁判所 16 財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義 17 総合演習 1 18 総合演習 2 19 総合演習 3 20 総合演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める	
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	職種別ガイダンス1
	2	職種別ガイダンス2
	3	職種別ガイダンス3
	4	職種別ガイダンス4
	5	職種別ガイダンス5
	6	職種別ガイダンス6
	7	職種別ガイダンス7
	8	職種別ガイダンス8
	9	職種別ガイダンス9
	10	職種別ガイダンス10
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、提出物の完成度などによって評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習 I	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、7試験種に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接講義
	2	面接効果測定準備
	3	面接効果測定
	4-6	模擬面接（試験種Ⅰ）
	7-9	模擬面接（試験種Ⅰ）
	10-12	模擬面接準備（試験種Ⅱ）
	13-15	模擬面接（試験種Ⅱ）
	16-18	模擬面接準備（試験種Ⅲ）
	19-21	模擬面接（試験種Ⅲ）
	22-24	模擬面接準備（試験種Ⅳ）
	25-27	模擬面接（試験種Ⅳ）
	28-30	模擬面接準備（試験種Ⅴ）
	31-33	模擬面接（試験種Ⅴ）
	34-36	模擬面接準備（試験種Ⅵ）
	37-39	模擬面接（試験種Ⅵ）
	40-42	模擬面接準備（試験種Ⅶ）
	43-45	模擬面接（試験種Ⅶ）
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定および授業への参加姿勢で評価	
備考	模擬面接準備・模擬面接には集団討論対策も含む	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	120時間
授業コマ数	60コマ
授業概要	10試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	なし
特記	
授業計画	1-3 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 4-6 模擬面接（試験種Ⅰ） 7-9 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 10-12 模擬面接（試験種Ⅱ） 13-15 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 16-18 模擬面接（試験種Ⅲ） 19-21 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 22-24 模擬面接（試験種Ⅳ） 25-27 模擬面接準備（試験種Ⅴ） 28-30 模擬面接（試験種Ⅴ） 31-33 模擬面接準備（試験種Ⅵ） 34-36 模擬面接（試験種Ⅵ） 37-39 模擬面接準備（試験種Ⅶ） 40-42 模擬面接（試験種Ⅶ） 43-45 模擬面接準備（試験種Ⅷ） 46-48 模擬面接（試験種Ⅷ） 49-51 模擬面接準備（試験種Ⅸ） 52-54 模擬面接（試験種Ⅸ） 55-57 模擬面接準備（試験種Ⅹ） 58-60 模擬面接（試験種Ⅹ）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価
備考	模擬面接準備・模擬面接には集団討論対策も含む

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事研究	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する	
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる	
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	情報収集と考察 テーマ1
	2	情報収集と考察 テーマ2
	3	情報収集と考察 テーマ3
	4	情報収集と考察 テーマ4
	5	情報収集と考察 テーマ5
	6	情報収集と考察 テーマ6
	7	情報収集と考察 テーマ7
	8	情報収集と考察 テーマ8
	9	情報収集と考察 テーマ9
	10	情報収集と考察 テーマ10
	11	情報収集と考察 テーマ11
	12	情報収集と考察 テーマ12
	13	情報収集と考察 テーマ13
	14	情報収集と考察 テーマ14
	15	情報収集と考察 テーマ15
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物の内容を評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習 I
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択 B
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 適性試験練習 1 2 適性試験練習 2 3 適性試験練習 3 4 適性試験練習 4 5 適性試験練習 5 6 適性試験練習 6 7 適性試験練習 7 8 適性試験練習 8 9 適性試験練習 9 10 適性試験練習 10 11 適性試験練習 11 12 適性試験練習 12 13 適性試験練習 13 14 適性試験練習 14 15 適性試験練習 15 16 適性試験練習 16 17 適性試験練習 17 18 適性試験練習 18 19 模擬試験 (適性試験) 1 20 模擬試験 (適性試験) 2 21 模擬試験 (適性試験) 3 22 模擬試験 (適性試験) 4 23 模擬試験 (適性試験) 5 24 模擬試験 (適性試験) 6 25 模擬試験 (適性試験) 7 26 模擬試験 (適性試験) 8 27 模擬試験 (適性試験) 9 28 模擬試験 (適性試験) 10 29 模擬試験 (適性試験) 11 30 模擬試験 (適性試験) 12
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員倫理	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分	
授業概要		
授業の進め方	講義をもとに、各自研究課題を作成する	
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1 公務員服務規程 2 公務員関連の法令研究 1 3 公務員関連の法令研究 2 4 公務員服務規程の研究 1 5 公務員服務規程の研究 2 6 レポート作成 7 レポート作成 8 まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	提出レポートの完成度によって評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	90時間
授業コマ数	45コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実践的な問題を含む5模擬試験で正答率6割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 地方公務員タイプの模擬試験 1 2 国家公務員タイプの模擬試験 1 3 地方公務員タイプの模擬試験 2 4 国家公務員タイプの模擬試験 2 5 国家公務員タイプの模擬試験 3 6 国家公務員タイプの模擬試験 4 7 消防官タイプの模擬試験 1 8 地方公務員タイプの模擬試験 3 9 実践的なレベルの模擬試験 1 10 警察官タイプの模擬試験 1 11 選択式（地方公務員2タイプ・裁判所）模擬試験 12 刑務官タイプの模擬試験 13 警察官タイプの模擬試験 2 14 実践的なレベルの模擬試験 2 15 地方公務員タイプの模擬試験 4 16 地方公務員タイプの模擬試験 5 17 消防官タイプの模擬試験 2 18 警察官タイプの模擬試験 3 19 地方公務員タイプの模擬試験 6 20 地方公務員タイプの模擬試験 7 21 地方公務員タイプの模擬試験 8 22 国家公務員タイプの模擬試験 5 23 国家公務員タイプの模擬試験 6 24 国家公務員タイプの模擬試験 7 25 国家公務員タイプの模擬試験 8 26 国家公務員タイプの模擬試験 9 27 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 1 28 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 2 29 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 3

	30 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 4 31 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 5 32 選択式（地方公務員 2タイプ・消防官・裁判所）模擬試験 1 33 選択式（地方公務員 2タイプ・消防官・裁判所）模擬試験 2 34 選択式（地方公務員 2タイプ・消防官・裁判所）模擬試験 3 35 選択式（地方公務員 2タイプ・消防官・裁判所）模擬試験 4 36 選択式（地方公務員 2タイプ・消防官・裁判所）模擬試験 5 37 選択式（地方公務員 2タイプ・警察官）模擬試験 1 38 選択式（地方公務員 2タイプ・警察官）模擬試験 2 39 選択式（地方公務員 2タイプ・警察官）模擬試験 3 40 選択式（地方公務員 2タイプ・警察官）模擬試験 4 41 選択式（地方公務員 2タイプ・刑務官）模擬試験 42 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 1 43 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 2 44 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 3 45 地方公務員タイプの模擬試験 9
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	演習・実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分	
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	実務経験者における講義
	2	レポート作成1
	3	レポート作成2
	4	実習準備
	5	官公庁での実習
	6	レポート作成1
	7	レポート作成2
	8	レポート作成3
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する可能性がある	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分	
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	実務経験者における講義①
	2	個人研究
	3	グループワーク①
	4	グループワーク②
	5	グループワーク③
	6	グループワーク④
	7	実務経験者における講義②（プレゼンテーション・総評）
	8	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	職業実務IV	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分	
授業概要	地方行政に関する講義を行い、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	講義後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	地方行政に関する講義①
	2	個人研究
	3	グループワーク①
	4	グループワーク②
	5	グループワーク③
	6	グループワーク④
	7	地方行政に関する講義② (プレゼンテーション・総評)
	8	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																
授業科目	職業実務V																
実務家教員																	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部																
履修年次	1年次																
開講学期	通年																
科目区分	選択B																
授業方法	演習																
授業時間	15時間																
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分																
授業概要	警察または消防に関する講義（または演習・実習）を行い、その講義（演習・実習）から得た知識を基に官庁企業研究を行う																
授業の進め方	講義（演習・実習）後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う																
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する																
教科書	なし																
特記																	
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>警察職・消防職における講義1（または演習・実習）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>レポート作成1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>レポート作成2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>レポート作成3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>警察職・消防職における講義2（または演習・実習）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>レポート作成1</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>レポート作成2</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>レポート作成3</td> </tr> </table>	1	警察職・消防職における講義1（または演習・実習）	2	レポート作成1	3	レポート作成2	4	レポート作成3	5	警察職・消防職における講義2（または演習・実習）	6	レポート作成1	7	レポート作成2	8	レポート作成3
1	警察職・消防職における講義1（または演習・実習）																
2	レポート作成1																
3	レポート作成2																
4	レポート作成3																
5	警察職・消防職における講義2（または演習・実習）																
6	レポート作成1																
7	レポート作成2																
8	レポート作成3																
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度																
備考																	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択 B
授業方法	演習
授業時間	108時間
授業コマ数	54コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<p>1・2 実戦的なタイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>3・4 実戦的なタイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>5・6 実戦的なタイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>7・8 実戦的なタイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>9・10 実戦的なタイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>11・12 実戦的なタイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説</p> <p>13・14 国家公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>15・16 実戦的なタイプの模擬試験 7 ・当該模擬試験の解説</p> <p>17・18 地方公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>19・20 地方公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>21・22 地方公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>23・24 地方公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>25・26 国家公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>27・28 国家公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>29・30 国家公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>31・32 国家公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>33・34 消防官（中級レベル）タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>35・36 消防官（初級レベル）タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>37・38 地方公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>39・40 実戦的なタイプの模擬試験 8 ・当該模擬試験の解説</p> <p>41・42 警察官タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>43・44 選択式（地方公務員 2タイプ・裁判所）模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>45・46 刑務官タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>47・48 実戦的なタイプの模擬試験 9 ・当該模擬試験の解説</p> <p>49・50 警察官タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>51・52 実戦的なタイプの模擬試験 10 ・当該模擬試験の解説</p> <p>53・54 地方公務員タイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	102時間
授業コマ数	51コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<p>1・2 地方公務員タイプの模擬試験 1</p> <p>2・3 地方公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>4・5 地方公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>6・7 選択式（地方公務員 2タイプ・警察官）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>8・9 国家公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>10・11 国家公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>12・13 国家公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>14・15 国家公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>16・17 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>18・19 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>20・21 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>22・23 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>24・25 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>26・27 国家公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説</p> <p>28・29 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>30・31 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>32・33 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>34・35 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説</p> <p>36・37 選択式（地方公務員 2タイプ・警察官・自衛官）模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>38・39 選択式（地方公務員 2タイプ・警察官）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>40・41 選択式（地方公務員 2タイプ・警察官）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p> <p>42・43 選択式（地方公務員 2タイプ・刑務官）模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>44・45 地方公務員タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説</p> <p>46・47 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説</p> <p>48・49 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説</p> <p>50・51 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	総合的なレベルの模擬試験で正答率6割以上を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	総合的なタイプの模擬試験 1
	2	模擬試験 1 の解説
	3	総合的なレベルの模擬試験 2
	4	模擬試験 2 の解説
	5	総合的なレベルの模擬試験 3
	6	模擬試験 3 の解説
	7	総合的なレベルの模擬試験 4
	8	模擬試験 4 の解説
	9	総合的なレベルの模擬試験 5
	10	模擬試験 5 の解説
	11	総合的なレベルの模擬試験 6
	12	模擬試験 6 の解説
	13	総合的なレベルの模擬試験 7
	14	模擬試験 7 の解説
	15	総合的なレベルの模擬試験 8
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実習	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う	
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う	
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う。	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	公安職種の体力試験に関する研究
	2	筋力トレーニング
	3	筋力トレーニング
	4	筋力トレーニング
	5	筋力トレーニング
	6	筋力トレーニング
	7	筋力トレーニング
	8	筋力トレーニング
	9	集団演技1
	10	集団演技2
	11	集団演技3
	12	集団演技4
	13	集団演技5
	14	集団演技6
	15	集団演技7
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、出席状況によって評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	法律研究	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	身近な法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	法律概論（講義）
	2	課題の提示（講義）
	3	課題①の研究1
	4	課題①の研究2
	5	課題②の研究1
	6	課題②の研究2
	7	課題③の研究1
	8	課題③の研究2
	9	研究発表シナリオ作成1
	10	研究発表シナリオ作成2
	11	研究発表準備1
	12	研究発表準備2
	13	模擬プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	民法
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	68時間
授業コマ数	34コマ
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 権利能力、意思能力と行為能力 2 無効・取消し 3 意思の不存在、瑕疵ある意思表示 4 代理権 5 代理行為、無権代理 6 無権代理と相続、表見代理 7 時効総説、時効の完成猶予・更新 8 取得時効、消滅時効、物権の効力 9 物権変動の一般理論、177条（対抗要件主義） 10 物権変動と登記の要否 11 即時取得制度、占有の効力 12 共有、地役権 13 担保物権総論、留置権 14 抵当権 15 復代理、質権 16 法定地上権、譲渡担保 17 債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償 18 債権者代位権 19 詐害行為取消権（債権者取消権） 20 連帯債務、保証債務 21 債権譲渡 22 弁済、相殺 23 契約の効力（双務契約の特則）、契約の解除 24 売買（1） 25 売買（2） 26 賃貸借 27 不当利得 28 不法行為 29 婚姻、親子関係 30 相続、遺留分 31 弁済の提供、受領遅滞、解除の効果 32 贈与、請負、委任 33 総復習1 34 総復習2
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	24時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	地理・歴史・倫理の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着	
教科書	スタンダード問題集・オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	日本史（中世、近世Ⅰ）
	2	日本史（近世Ⅱ、近代Ⅰ）
	3	日本史（近代Ⅱ、現代、通史）
	4	地理（自然環境と地図）
	5	地理（資源と産業、生活と地域）
	6	地理（日本の地理）
	7	地理（世界の地理）
	8	世界史（東洋世界）
	9	世界史（現代世界）
	10	倫理（西洋思想）
	11	倫理（東洋思想）
	12	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	16時間	
授業コマ数	8コマ	
授業概要	自然科学分野の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生物総合演習
	2	物理総合演習
	3	物理総合演習
	4	化学総合演習
	5	化学総合演習
	6	数学総合演習
	7	数学総合演習
	8	地学総合演習・科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学 I 生物・地学
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択 B
授業方法	講義
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 生体の構造 2 生体内の代謝 3 生殖と発生 4 遺伝と変異 5 刺激の受容と反応 6 内部環境の恒常性と調節 7 生物の集団 8 生物の進化と系統 9 地球の姿と動く大地 10 岩石 11 大気と海洋 I 12 大気と海洋 II 13 太陽系と宇宙の構造 I 14 太陽系と宇宙の構造 II、地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅱ 物理・化学
実務家教員	
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動の表現 2 力 3 運動方程式 4 エネルギー 5 運動量、熱 6 波動、原子 7 電気 8 物質の構造 1 9 物質の構造 2 10 物質の状態 1 11 物質の状態 2 12 物質の変化 1 13 物質の変化 2 14 無機化合物
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践数的IV 数的総合	
実務家教員		
学部・学科	法律事務学科1年制昼間部	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	数的推理・判断推理の基礎知識を定着させ、応用問題も解答できるようにする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式
	2	方程式
	3	整数・計算パズル
	4	整数・計算パズル
	5	割合と比
	6	割合と比
	7	速さ
	8	速さ
	9	仕事算
	10	場合の数
	11	確率
	12	論理
	13	集合の要素
	14	順序
	15	順序
	16	位置・方位
	17	対応
	18	勝敗・うそつき
	19	暗号、推理・手順
	20	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価	
備考		